



人・夢・あかえ



find us on facebook



松井用水路案内板

赤江公民館前に松井用水路の案内板ができました。赤江中学校の前を流れている用水路です。地域の宝を大切に守っていきましょう。今後、ほかの案内板も設置予定です。お楽しみに!



設置された案内板



赤江中学校前の用水路

松井用水路

～ここを流れているのは松井用水路です～

水不足に困っていた赤江の田んぼ

江戸時代の赤江は、肥沃な清武郷となり、西北方、東北方、上南方、下南方、上恒久、中恒久、田吉、岩切の八つの村がありました。そのころの赤江には約220ヘクタールの田んぼがありましたが、水は雨水に頼るしかなく、しばしば干ばつの被害を受けていました。

清武郷の役人だった松井五郎兵衛は、農民たちから田んぼへ水を引いてほしいとの願いを聞き、十分な調査を行って、水路開削を請に願います。失敗のときは切腹して責任を取るという強い決意の五郎兵衛に、藩の許しが下りました。このとき五郎兵衛は70歳でした。

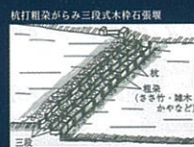
村人たちが総出で着工し新田も開発

1639年(寛永16年)12月に、村人たちが総出で着工し、清武川に取水口のための井堰(杭打相築がらみ三段式木枠石張堰)をつくります。須田木丘は高く、岩盤でしたので、石を頼って隧道を掘り、岩切、山崎へとつなぎ、翌年3月には、幅2メートルで長さ4キロメートルの水路が開通しました。その後、柳瀬から恒久に至り八重川にそくく11キロメートルの水路や各村への支線水路も完成しました。水不足の心配もなくなり、新田開発も進み田んぼは約445ヘクタールと開発前の倍の広さになりました。赤江は、宮崎平野で一番の穀倉地帯になりました。

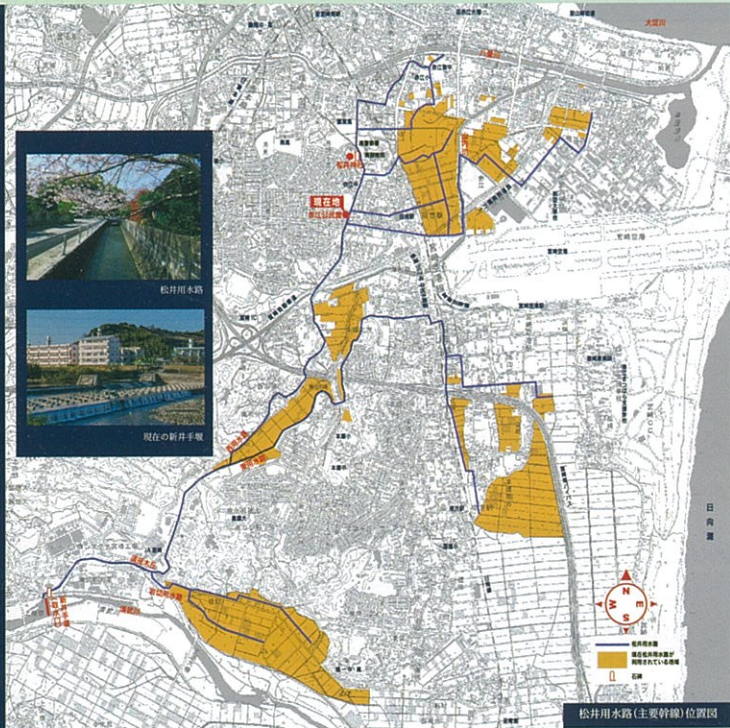
用水路開削の先駆者松井五郎兵衛

江戸時代の初めころにつくられた松井用水路は、県内はもとより全国的にも用水路開削のさきがけとなりました。近年までは水量も多く、田畑を潤し、牛馬を飼ったり野菜を洗うなど生活と切り離せない水路で、蟹が舞い、魚釣りや水泳など子どもたちの遊び場でもありました。松井五郎兵衛の功績を讃えて、赤江の村の人たちは、石碑や松井神社を創建しました。現在もお祀りしています。

赤江地域まちづくり推進委員会 2020年3月



杭打相築がらみ三段式木枠石張堰
松井五郎兵衛が考案したこの構築法は、大雨のたびに流出しながらも、1934年(昭和9年)にコンクリート堰に改築されるまで360年余にわたって使い続けられました。



ミニコンサート案内

五感で楽しむ ジャズと茶の湯

11月7日(土)
9:45~11:30

宝泉寺本堂:25名程度

ジャズのミニコンサートです。和と洋のコラボを楽しみませんか?
※詳しくは後日チラシにてご案内します。



まちあるき案内

11月28日(土)
9:00~11:30

昔の街並みや暮らし、
歴史を学ぼう!

城ヶ崎歴史マップを見ながら、恒久小学校~新小戸之橋~八坂神社、俳人墓地など約4kmを歩きます。※詳しくは後日チラシにてご案内します。



環境マップ贈呈

身近にある自然を知り、環境保全の意識を高めてもらいたいと地域内に生息する動植物が学べるクリアファイルを作製し、恒久小、赤江小、宮崎南小の3校に配布しました。赤江小では直接児童へ贈呈し、「自然の生き物・植物をみつめてほしい」と呼びかけました。



赤江のお店紹介



テイクアウト特集

今回は赤江地域のテイクアウトできるお店を紹介します。地域のお店を利用して、新型コロナを乗り越えましょう!

イタリアンレストラン i stile(アイスタイル)

恒久4丁目14-1メモリースリー1F ☎0985-41-4361

愛され続けて6年目を迎えた、本格イタリアンを気軽に楽しめる「i stile」。本格イタリアの一つ星料理店で修業したシェフが腕を振ります。

金賞を受賞したレシピを用いた直径25cmのピザや、リピーター続出の Pasta を是非ご賞味ください。

●テイクアウトメニュー

●ピザ・パスタ各種
1,000~1,400円(税別)

■営業時間:
11:30~15:00(Lo14:30)
18:00~22:00(Lo21:30)
■定休日:月曜日



焼肉 永野牧場

大守恒久900-1 ☎0985-54-1474

焼肉屋さんならではの肉を煮込んだ濃厚なカレーです。ご飯は大小から選べて値段は同じ。ほかにも唐揚げ定食、しょうが焼き定食などの500円メニューやピビンバ、和牛丼もあります。ランチにいかがですか?

●テイクアウトメニュー

●なんざんカレー(サラダ付き)/500円(税別)
●ピビンバ(わかめスープ付き)/700円(税別)など

■営業時間: 11:00~14:00(Lo13:30)
17:00~22:00(Lo21:30)
■定休日:月曜日



個室ダイニング こそみ

宮崎市恒久924-1 清水ビル2F ☎0985-54-1151

お弁当の販売を始めました。お弁当のメインはお肉とお魚の2種類。ご飯は鶏と牛蒡の炊き込みご飯です。また、チキン南蛮弁当や1品料理、オードブルもあります。ランチやディナーも営業しておりますので、プライベートのお食事や会食などにご利用下さい。

●テイクアウトメニュー

●こそみ弁当/500円(税込)
●チキン南蛮弁当/500円(税込)

■営業時間: ランチ11:00~14:30(Lo13:30)
ディナー18:00~22:00(Lo21:00)
(お弁当等の受け渡し時間11:00~13:00・17:30~20:00)
※お電話でのご注文をおねがいします。
■定休日:月曜日



令和2年度 赤江地域まちづくり推進委員会 事業計画・事業予算

事業名	予算(円)	活動内容	事業名	予算(円)	活動内容
青バト活動支援及び防犯活動	260,000	あかえ青バト隊の支援、地域安全確保のための見守り活動をしています	あかえ寺子屋	230,000	広い世代で歴史や文化を学び、地域交流を楽しめる事業を実施します
災害救助資機材等設置	200,000	地域内の小、中学校に設置している防災資機材の管理・点検・補充を実施します	赤江の歴史案内	990,000	地域内の史跡などに「案内表示板」を設置します
災害時対応備蓄品購入	652,912	災害時対応積立基金から災害時に必要な備蓄品を購入します	広報誌「人・夢・あかえ」の発行	450,000	広報誌を年2回発行します
子育て応援	190,000	子育て中の親子の交流の場を設け、子育てしやすい環境づくりをサポートします	カレンダーを作ろう	100,000	橋の絵コンテストの入賞作品でカレンダーを作ります
あじさいロードを守ろう	310,000	地域の方と一緒にあじさいロードの整備を実施し、環境美化の心を育てます	まちづくり活動支援	1,100,000	赤江地域まちづくり推進委員会全体の活動を支援します
小戸之橋ストリートフェスティバル	70,000	昨年度まで実施してきた同事業総括のための会議を行います	合計	4,552,912	

ご利用ください

自治会や地域の団体でのご使用に限りませんが、まちづくり推進委員会の物品がご利用できます。みんなで利用して地域を楽しく盛り上げていきましょう!※ご覧になりたい方、自治会等で使用したい方はまちづくり事務局までご連絡ください。

刈払機、炊き出しステーション、カセットボンベ式発電機、子育て支援活動グッズ、トランシーバー、プロジェクター、スクリーン、クーラーボックスなど



あじさいロードをきれいにしよう

8月23日(日):80名参加

赤江東地区青少年育成協議会との共催で、赤江小学校前のあじさいロードの除草作業を行いました。赤江東中学校や宮崎南高校の生徒、地域の方にも参加していただき、きれいになりました。



後日、大淀造園のご協力をいただき、JR南宮崎駅からファミリーマート恒久4丁目店までのあじさいロードも剪定・除草作業をしました。

子育てサロン

9月8日(火):12組参加 共催:たんぼぼKIDSクラブ

今年は、コロナにより人数を制限しての開催でしたが、ママと子供たちの笑顔にあふれたリトミック教室でした。



会長あいさつ

赤江地域まちづくり推進委員会 会長 越山 明典

今年度はスタート時から新型コロナウイルスの影響により、事業の計画を立てることも出来ず、広報誌の発行が大変遅れてしまい、申し訳ございません。なんとか皆様にお知らせできる状態にはなりましたが、暫くは続いてしまうであろう新型コロナウイルスの状況をしっかりと見極め、事業実施時には万全の対策を取り事業を行っていく所存でございます。



赤江地域まちづくり推進委員会 新メンバー紹介



- たんぼぼKIDSクラブ (佐藤さん、赤木さん、河野さん、実島さん)
- 黒木賢愛さん

まちづくり推進メンバー募集!

赤江地域にお住まいの方で、まちづくり推進委員会の各部会で活動してみたい方を募集しています。一緒に地域を盛り上げるような活動をしませんか?現在38名の委員が活動しています。あんぜん部会、つなごう部会、環境部会、文化部会、広報部会、みんなの部会があります。

事務局職員募集!

赤江まちづくり推進委員会の事務局職員を募集します。採用方法:11月末応募締め切り、12月試験・面接、令和3年1月採用。※詳しくは、事務局までお問い合わせください。

赤江地域まちづくり推進委員会事務局

〒880-0911 大字田吉5730-3
電話(FAX) 51-5122(平日9:00~16:00)
akae5730@miyazaki-catv.ne.jp

残したい赤江の風景

一人暮らしを恒久で始めた時から赤江地域内での生活も、気がついたらもう20年を超えました。ライフスタイルも住所も変わってはいますが、わが子にとっては間違いなく「地元=赤江」です。八重川の桜並木。飛行機と電車が一緒に見える公園。狸の親子の住む稲荷山。スポーツに汗を流す人の集う河川敷。妄想旅行を楽しめる宮崎空港デッキ。娘に教えてもらった残したい赤江の風景、たくさん。しかしながら赤江の歴史についてはまだまだ疎い私。今回まちづくりに参加させていただいたことをきっかけにもっと勉強していきたいです。



撮影・文 広報部会 黒木 賢愛